

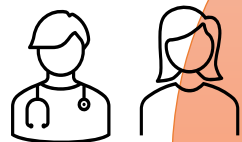
安中市 在宅医療介護連携推進事業の取り組み

【めざす姿：医療や介護が必要となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる】

医療や介護が必要になっても患者(利用者)様が住み慣れた地域でその人らしく生活できる

医療介護関係者が連携し情報共有することで患者(利用者)様が安心して退院後の生活を送る事ができる

- ・ 在宅医療・介護情報の更新
- ・ 在宅療養情報のホームページ公開による情報提供強化
- ・ 専門職向け相談窓口
- ・ MCSによる情報共有支援



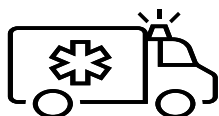
日常の療養

入退院支援



- ・ 退院調整状況等のアンケート調査
- ・ 安中市版退院調整ルール周知
- ・ 入退院支援力向上を目的とした多職種研修

- ・ 救急連携シートの活用促進
- ・ 医療介護救急関係者等の多職種研修や意見交換会



急変時の対応

看取り



- ・ 人生会議の日パンフレット作成
- ・ ACP準備性向上を目的とした市民講座
- ・ もしバナゲーム等出前講座
- ・ エンディングノート普及協力

救急関係者とも連携を図ることで在宅療養中の患者(利用者)様の急変時にもご本人の希望が尊重された対応ができる

患者(利用者)様が人生の最終段階においても病状や在宅療養について十分に認識した上で望む場所で最期を迎える事ができる